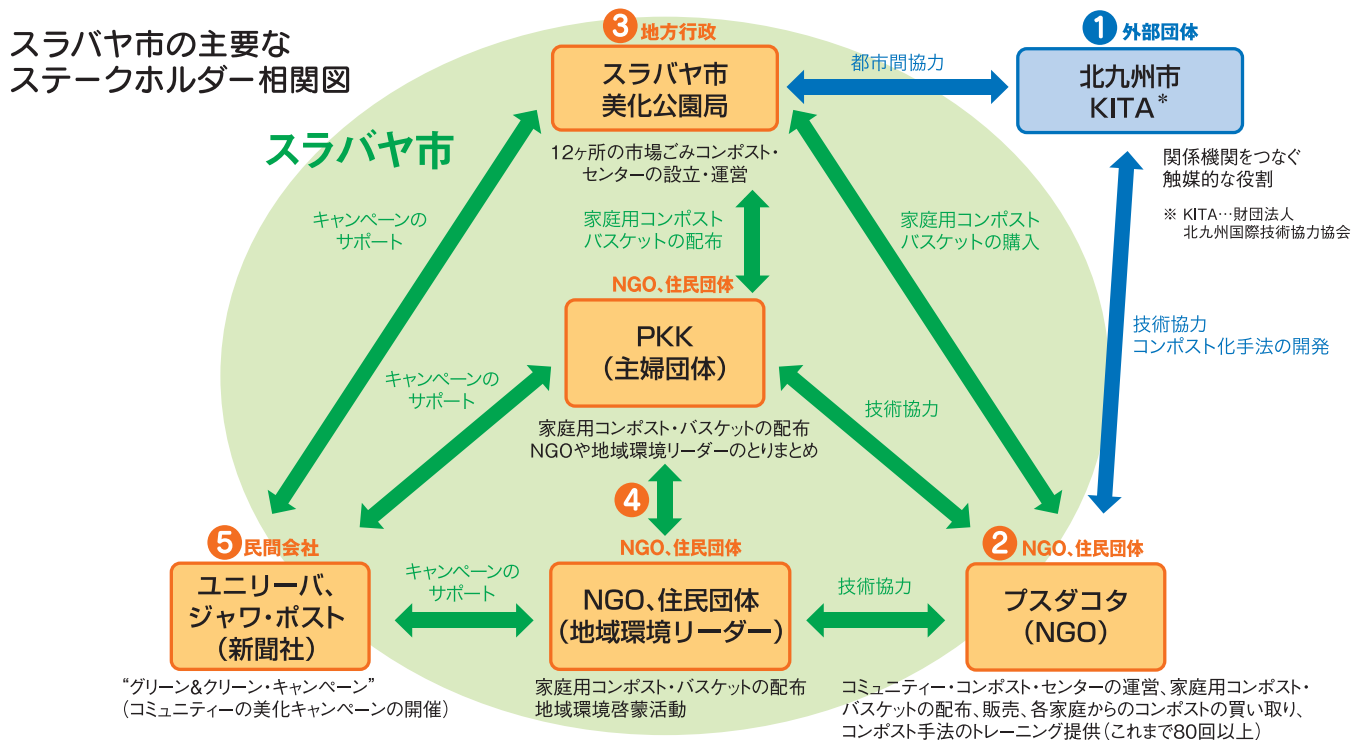


## インドネシア・スラバヤ市のコンポスト化普及事業

インドネシア・スラバヤ市では生ごみのコンポスト化推進により、ごみ発生量の10%以上の削減を達成しました。これは、スラバヤ市当局だけでなく、各種ステークホルダーの相乗効果により実現しました。ここではそれぞれの団体の主な活動内容を紹介いたします。



- ①まず、北九州市とプスダコタ(現地NGO)が現地に適したコンポスト手法を開発しました。
- ②次にプスダコタがそれを地域で活用し、家庭コンポスト・バスケットの利用を呼びかけ、地域コンポスト・センターを立ちあげました。
- ③そのモデルをスラバヤ市美化公園局がコピーし、12ヶ所のコンポストセンターを立ちあげ、16,000個の家庭用コンポスト・バスケットを無償配布しました。
- ④実際の家庭用コンポスト・バスケットの配布はPKK(主婦団体)や住民団体、NGOなどが組織する地域環境リーダーが担当し、使い方の説明やごみ分別の徹底などを、住民にきめ細かく指導しました。
- ⑤スラバヤ市は民間企業のユニリーバと新聞社のジャワ・ポストと協力し、コミュニティ間のごみ削減・緑化を競い合う『グリーン&クリーン・キャンペーン』を開始しました。

### 1. 北九州市(KITA)の活動



スラバヤ市の気候に適したコンポスト手法の開発



家庭用コンポスト・バスケットの開発

北九州市はプスダコタと協力し、現地の気候に適し、衛生的に短期間で生産できるコンポスト化手法を開発しました。またこれを応用し、各家庭においても生ごみをコンポスト化できる家庭用コンポスト・バスケットも開発しました。さらに、市が運営する市場ごみを対象とするコンポスト化手法も開発しました。

### 2. プスダコタ(NGO)の活動



家庭から分別回収した生ごみのコンポスト化



家庭ごみの分別回収

プスダコタは北九州市の開発したコンポスト化手法を取り入れ、地域のおよそ1,000世帯から生ごみを分別回収し、コンポストを生産しています。そしてそれを利用し、家庭用コンポスト・バスケットの生産と販売もしています。また、周辺住民からコンポストの買い取りもしています。プスダコタはコンポスト化手法のトレーニングも提供し、その普及に努めています。

### 3.スラバヤ市美化公園局の活動



プラタン・コンポスト・センター。9人のスタッフで一日当り6トンの有機ごみを処理している。(写真中、説明しているのはコンポスト化推進の中心的役割を果たした前美化公園局長(現開発計画局長)のスリ・リスマハリニ氏)。



ソノクウィジェナン・コンポスト・センター。6人のスタッフが一日当り6トンの有機ごみをコンポスト化している。

スラバヤ市美化公園局の12ヶ所のコンポスト・センターでは、生鮮市場からの生ごみや街路樹を選定した枝葉など、一日当りおよそ40トンをコンポスト化しています。生産したコンポストはすべて市内の緑地や公園で利用しています。それに伴い、美化公園局が管理する公園・緑地の面積は、コンポスト化の推進以来3ヘクタールほど増加しました。スラバヤ市の土地は砂地で痩せているため、コンポストの需要は大きく、供給量が追いついていない状況です。スラバヤ市はこのコンポスト生産により、これまでの肥料購入費を削減することができました。

### 4.PKK(主婦団体)と地域環境リーダー



住民に家庭用コンポスト・バスケットの使用方法を説明するPKKのスタッフ。(写真提供:PKKスラバヤ)



ごみの分別指導をするPKKのスタッフ。



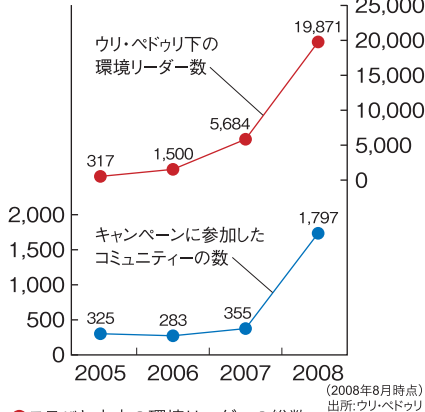
住民の環境啓蒙活動の様子。中央にいたのはバンバン・スラバヤ市長。

PKK(主婦団体)は主に市職員の主婦で構成され、市長の妻が代表を務めています。スラバヤ市のPKKは女性の社会進出や家庭環境の改善のため、職業訓練や母子の健康管理、環境教育などを支援する活動を積極的に進めています。その活動の一環として、家庭での生ごみコンポスト化の推進にも一役買っています。

PKKはほかのNGOや地域団体を巻き込み、カードル(Cadre)と呼ばれる地域環境リーダーを組織し、そのネットワークを利用し家庭用コンポスト・バスケットを配布しています。その家庭用コンポスト・バスケットはスラバヤ市が無償で供給しています。地域環境リーダーは28,000人ほどいて、それぞれが各地域で家庭用コンポスト・バスケットを普及し、その使用状況をモニタリングするというようなきめ細かい対応をしています。これが17,000個もの家庭用コンポスト・バスケットが普及し、活用されている秘訣です。

### 5.グリーン&クリーン・キャンペーン

グリーン&クリーン・キャンペーンに参加したコミュニティの数とウリ・ペドゥリ下の環境リーダーの数



●スラバヤ市内の環境リーダーの総数 **28,000**人

●スラバヤ市内のコミュニティの数8,800の **20%**が参加



グリーン&クリーン・キャンペーンの受賞式の様子。(写真提供:ウリ・ペドゥリ)

グリーン&クリーン・キャンペーンの開催はコミュニティの美化とごみ削減、家庭生ごみのコンポスト化推進に大きな役割を果たしました。2005年に始まった同キャンペーンは、当初、スラバヤ市の一部の地区だけが参加していましたが、受賞したコミュニティが新聞やテレビで大きく取り上げられ、多くの市民に認知されるにつれ徐々にその活動が他地区に広がり、2008年には市内のおよそ2割のコミュニティが参加するまでになりました。それと同時に同キャンペーンを運営するウリ・ペドゥリ(民間会社ユニリーバが出資するNGO)下の地域環境リーダーの数も20,000人ほどに増加し、市内全域

をカバーするようになりました。市の記念日に開催される同キャンペーンの授賞式は、今では市の一大行事となっています。同キャンペーンはスラバヤ市が資金面や受賞コミュニティの選定作業などに全面的に協力し、新聞社のジャワ・ポストがその状況を逐次報道するというように、民間と行政、NGOの協力により成り立っています。